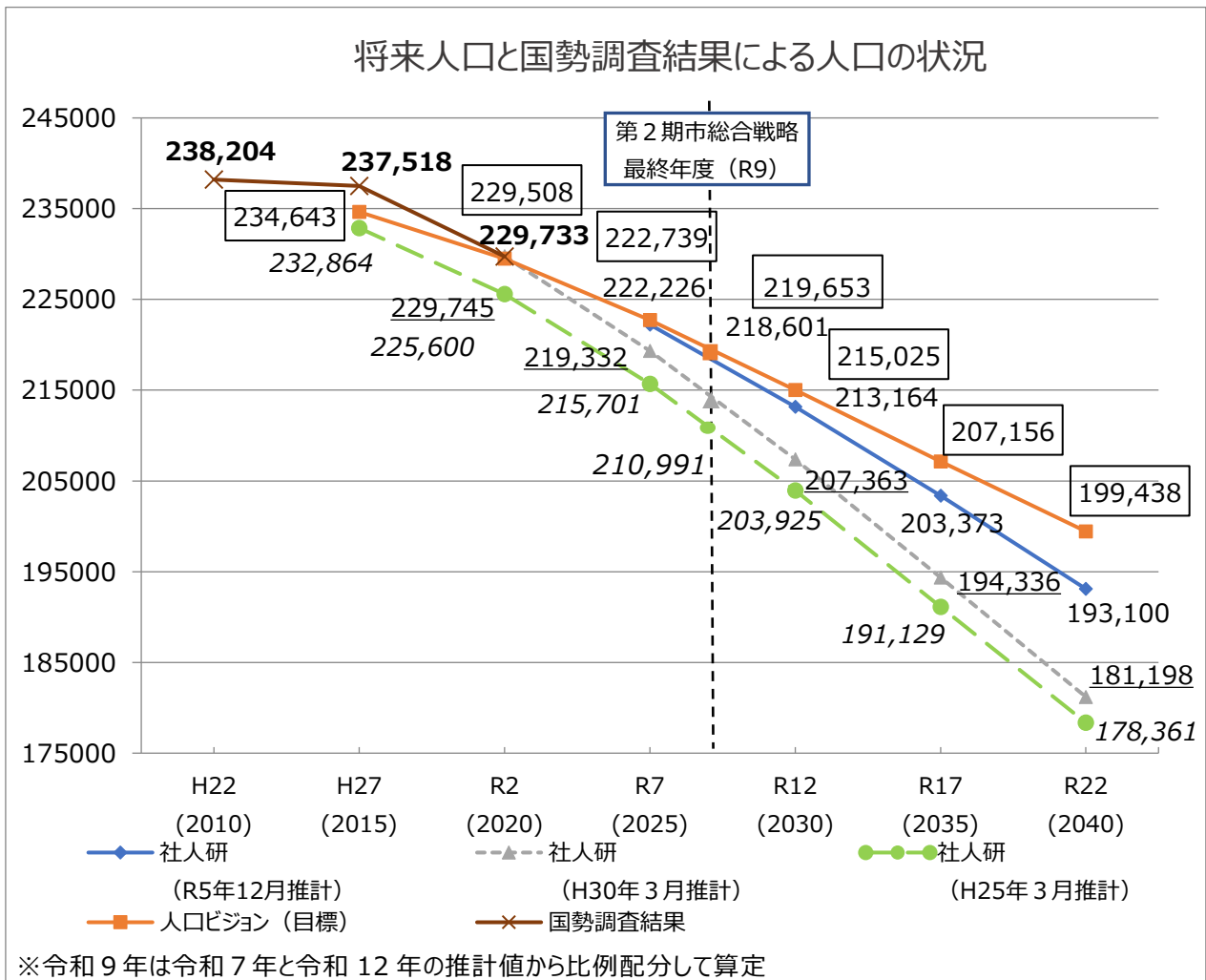


## 市の人口の状況について

### 1 市の将来人口と国勢調査結果による人口の状況

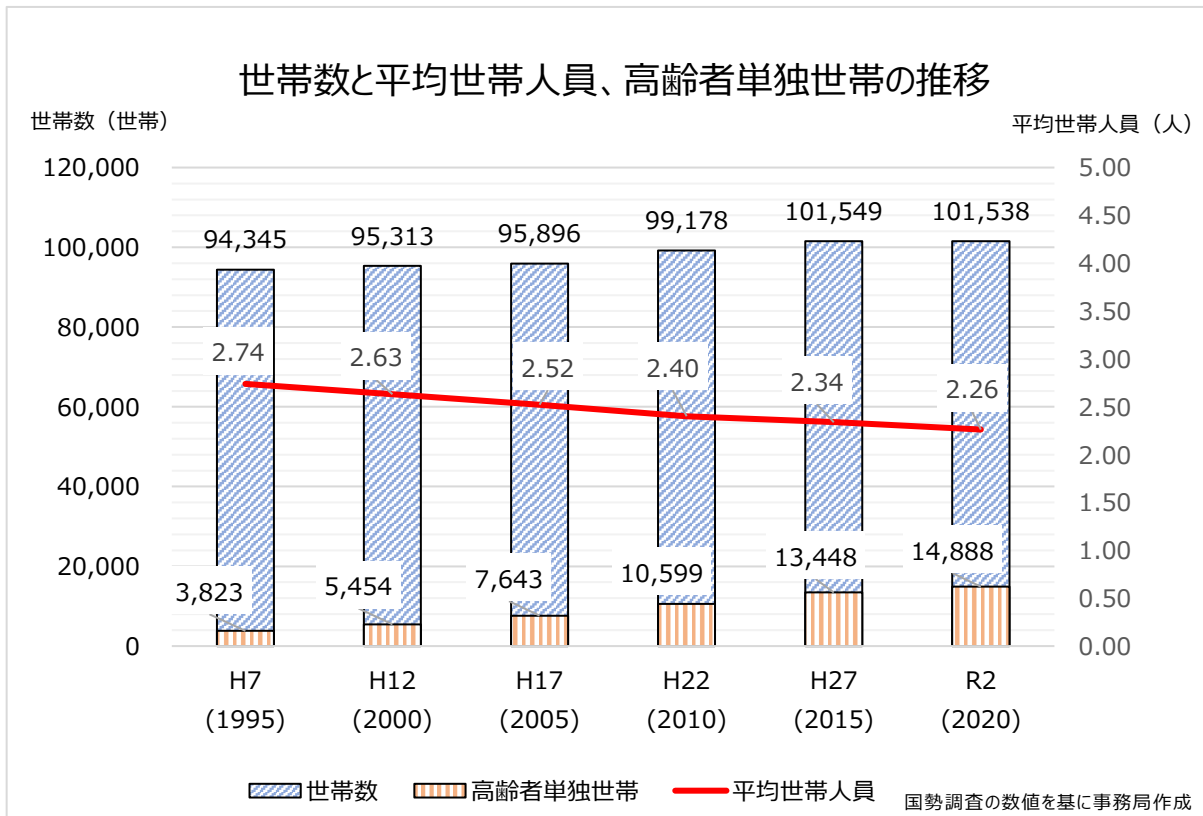
- 平成 28 年 2 月に市が策定した人口ビジョンにおいて、市の将来人口の推計を行っており、その中で、令和 2 年の人口は 229,508 人と推計していますが、令和 2 年の国勢調査による人口は、229,733 人となっており、若干ですが上回る結果となっています。（※国勢調査結果は令和 2 年が最新です。）
- 令和 22 年の将来人口について、国立社会保障・人口問題研究所の令和 5 年 12 月推計（193,100 人）を平成 30 年 3 月の推計（181,198 人）と比較すると、人口ビジョンの目標値（199,438 人）には届かないものの、推計値は改善しています。



	H22 (2010)	H27 (2015)	R2 (2020)	R7 (2025)	R9 (2027)	R12 (2030)	R17 (2035)	R22 (2040)
社人研 (R5年12月推計)				222,226	218,601	213,164	203,373	193,100
社人研 (H30年3月推計)			229,745	219,332	214,544	207,363	194,336	181,198
社人研 (H25年3月推計)		232,864	225,600	215,701	210,991	203,925	191,129	178,361
人口ビジョン (目標)		234,643	229,508	222,739	219,653	215,025	207,156	199,438
国勢調査結果	238,204	237,518	229,733					

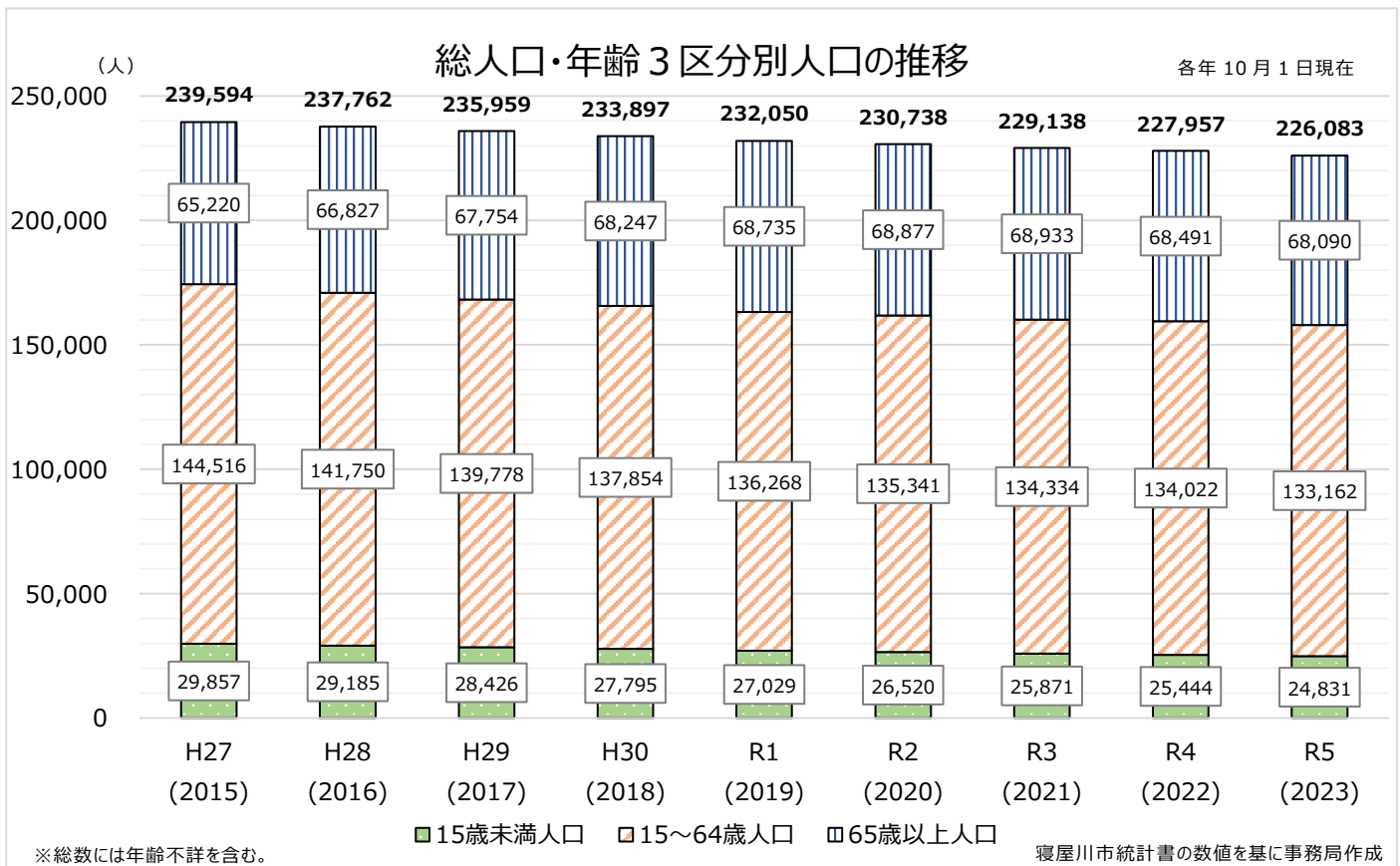
## 2 市の世帯数と平均世帯人員、高齢者単独世帯の推移

- 世帯数は平成7年の94,345世帯から平成27年の101,549世帯まで増加し続けていますが、令和2年には101,538世帯に留まっています。
- 平均世帯人員は、平成7年の2.74人から令和2年の2.26人まで継続して減少傾向にあります。
- 高齢者単独世帯は、平成7年の3,823世帯から令和2年の14,888世帯まで増加し続け、25年で約3.9倍になっています。



### 3 総人口と年齢3区分別人口の推移

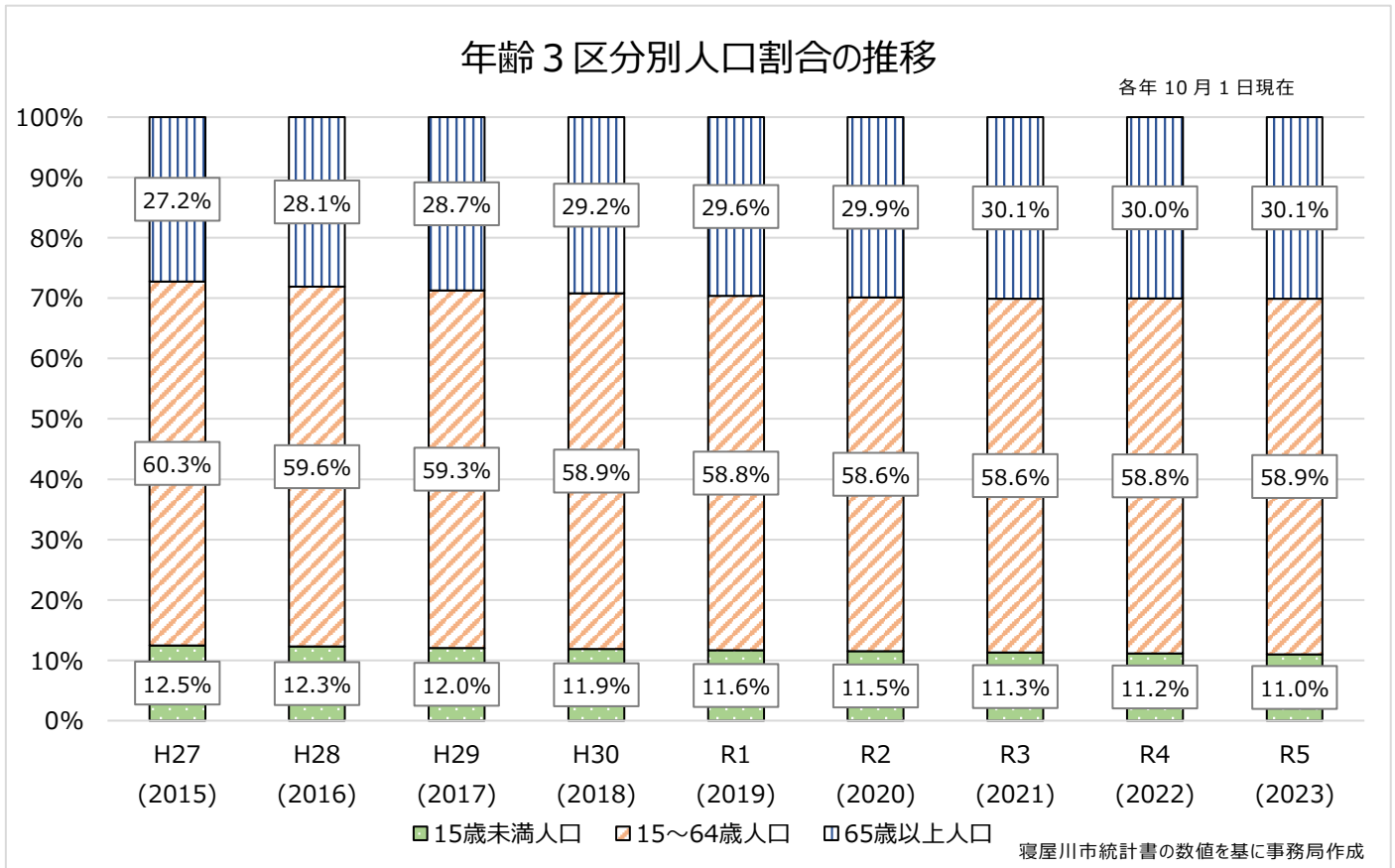
- 総人口は、平成 27 年の 239,594 人から、令和 5 年には 226,083 人と、13,511 人減少しています。  
(減少率：5.6%)
- 65 歳以上人口は、平成 27 年の 65,220 人から、令和 5 年には 68,090 人と、2,870 人増加しています。  
(増加率：4.4%)
- 15～64 歳人口は、平成 27 年の 144,516 人から、令和 5 年には 133,162 人と、11,354 人減少しています。  
(減少率：7.9%)
- 15 歳未満人口は、平成 27 年の 29,857 人から、令和 5 年には 24,831 人と、5,026 人減少しています。  
(減少率：16.8%)



※推移等の始期は、第1期市総合戦略の開始年度（平成27年度）を考慮しH27としています。以下同様。

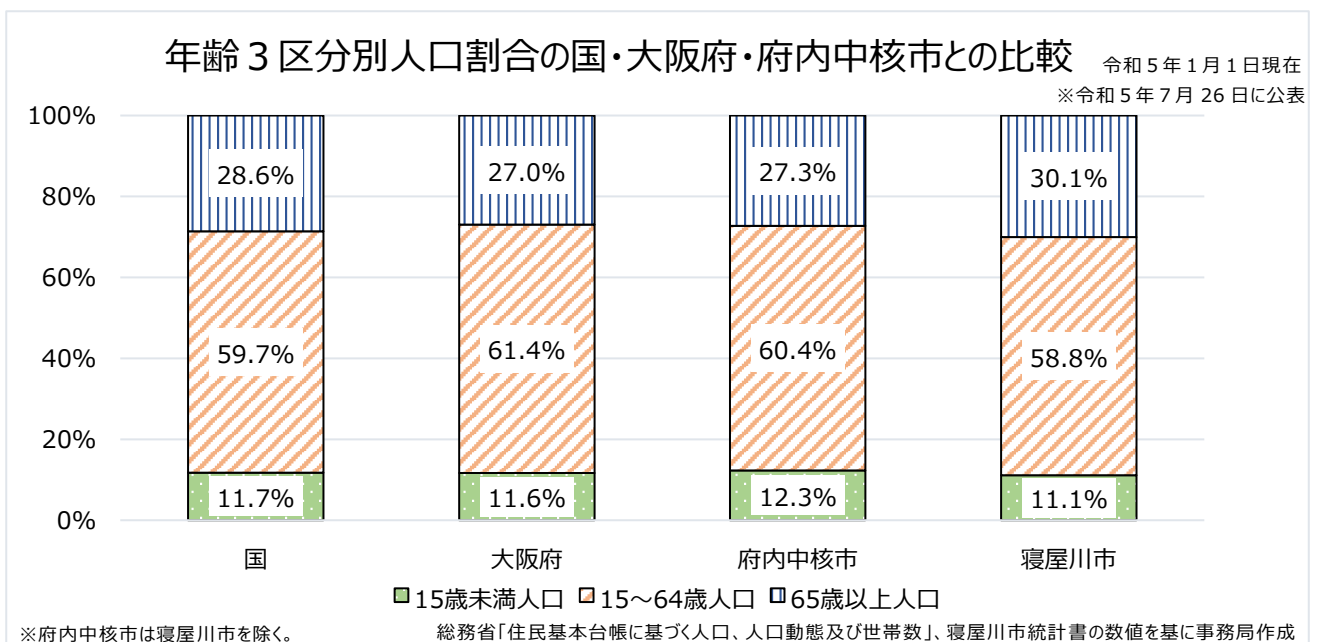
#### 4 年齢3区分別人口割合の推移

- 65歳以上人口の割合（高齢化率）は、平成27年の27.2%から、令和5年には30.1%に増加しています。
- 15～64歳人口の割合は、平成27年の60.3%から、令和5年には58.9%に減少しています。
- 15歳未満人口の割合は、平成27年の12.5%から、令和5年には11.0%に減少しています。



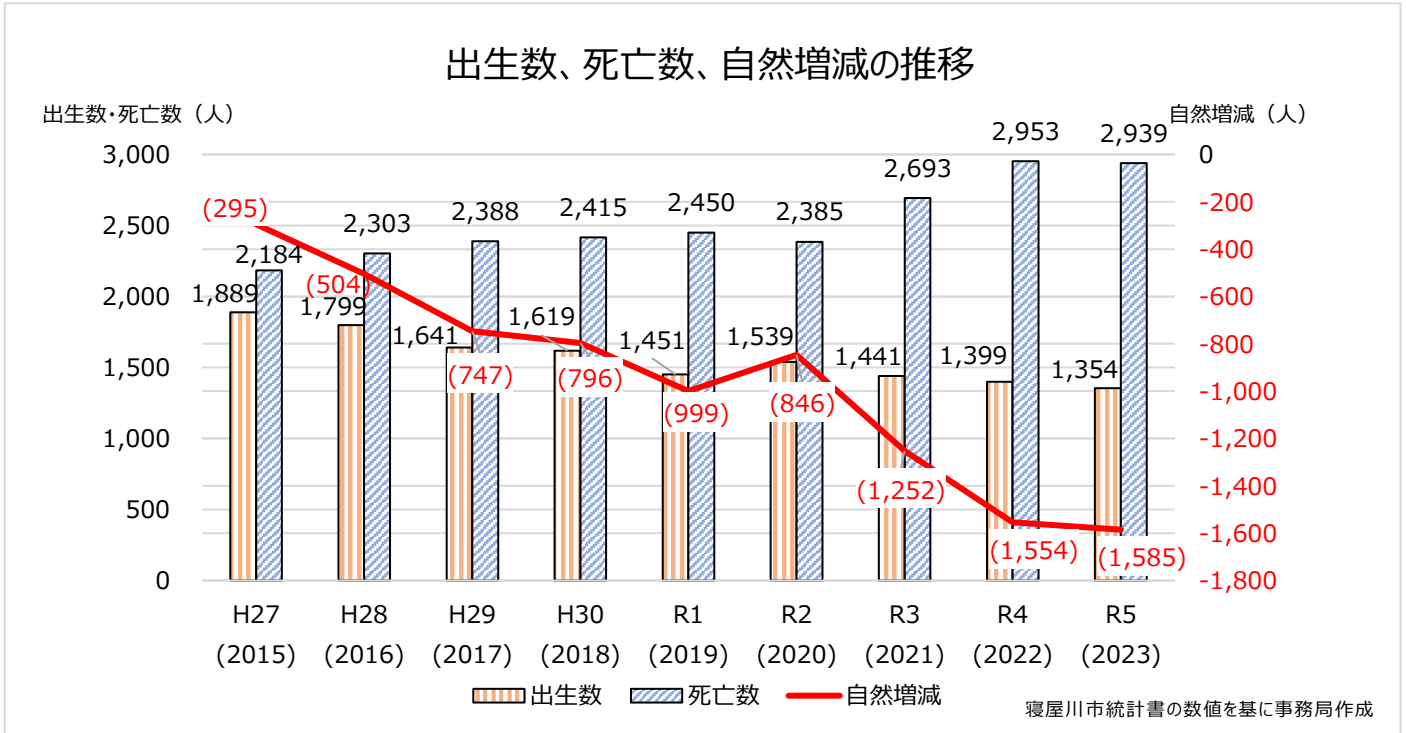
#### 5 令和4年における年齢3区分別人口割合の国・大阪府・府内中核市との比較

- 寝屋川市は、国・大阪府・府内中核市（寝屋川市を除く）と比べ、65歳以上人口の割合が高く、15～64歳人口と15歳未満人口の割合は低くなっています。



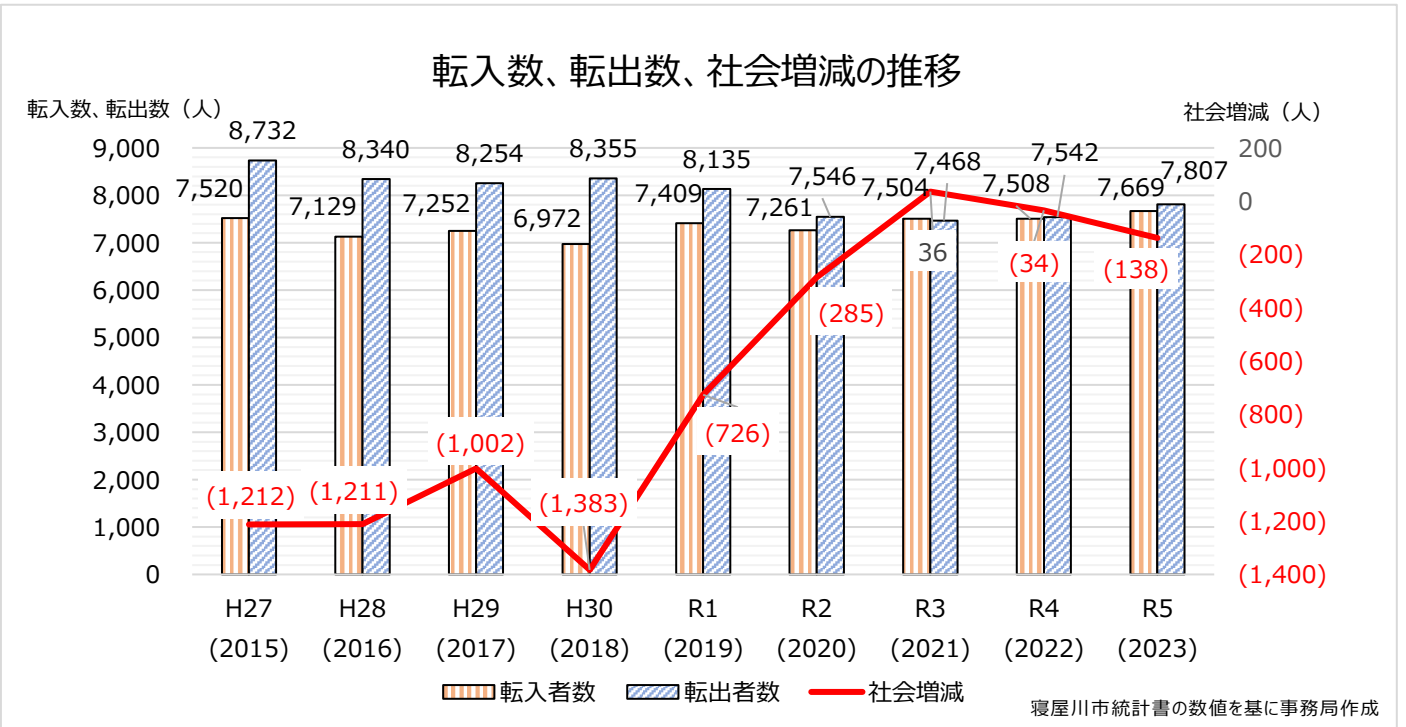
## 6 自然動態

- 令和5年の出生数は1,354人、死亡数は2,939人で、自然動態は1,585人の自然減となっています。
- 出生数は引き続き減少しているものの、令和元年以降はその減少傾向が弱まりつつあります。



## 7 社会動態

- 令和5年は転入者数7,669人、転出者数7,807人と令和4年に引き続き138人の転出超過となったものの、その減少幅は令和2年以前より小さくなっています。



## 8 令和4年における寝屋川市への転入者数の多い住所地（上位10市）

- 大阪市からの転入が最も多く、特に20～29歳、30～39歳の転入が多くなっています。また、0～9歳の転入が、129人と比較的多くなっています。
- 隣接市である枚方市、門真市、守口市からも多く転入しており、特に20～29歳、30～39歳の転入が多くなっています。

(人)

転入前の住所地	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/その他
大阪市	1,272	129	55	490	273	120	88	117	0
枚方市	762	48	39	260	142	75	85	113	0
門真市	477	61	20	141	89	56	44	66	0
守口市	387	39	15	121	81	45	35	51	0
京都市	195	10	13	78	40	22	11	21	0
四條畷市	181	19	10	54	33	19	16	30	0
東大阪市	164	9	9	64	30	16	13	23	0
大東市	158	14	5	59	23	16	18	23	0
東京都特別区部	155	13	9	53	33	22	19	6	0
交野市	142	8	7	46	29	12	18	22	0
その他の住所地を含む総数	7,003	604	375	2,571	1,369	689	568	826	1

総務省「住民基本台帳人口移動報告」

※令和5年4月27日に公表

## 9 令和4年における寝屋川市からの転出者数の多い住所地（上位10市）

- 大阪市への転出が最も多く、特に20～29歳、30～39歳の転出が多くなっています。
- 隣接市である枚方市、門真市、守口市へも多く転出しており、特に20～29歳、30～39歳の転出が多くなっています。また、枚方市へは0～9歳の転出が97人と比較的多くなっています。

(人)

転出後の住所地	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/その他
大阪市	1,206	48	39	566	233	121	68	131	0
枚方市	793	97	38	204	185	93	65	111	0
門真市	367	33	12	139	59	35	52	37	0
守口市	333	20	19	116	56	35	34	53	0
東京都特別区部	287	3	10	178	46	25	15	10	0
四條畷市	202	21	16	49	33	23	21	39	0
交野市	196	30	10	52	47	24	11	22	0
東大阪市	175	13	9	59	33	19	23	19	0
京都市	155	8	9	79	27	13	8	11	0
堺市	129	11	1	48	31	9	13	16	0
その他の住所地を含む総数	7,101	604	295	2,770	1,351	699	558	824	0

総務省「住民基本台帳人口移動報告」

※令和5年4月27日に公表